

職場を支えているという自覚 —中堅職員の役割



市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）前学長 **岡本 全勝**

（あなた自身を評価する）

連載「これからの時代に求められる自治体職員像」の第3回は、「中堅職員の役割」についてお話ししましょう。

あなたは職員としての経験を積み、中堅と呼ばれる立場になりました。あなた自身は、まだ一職員の気持ちでいるかもしれませんが、同僚や後輩だけでなく、上司や他の部署からも頼られています。そして、管理職を目指す位置にいます。

毎日、忙しく仕事を処理していることでしょう。しかしそれだけでは、もう一段上の能力は身につきません。立ち止まって、あなた自身を見直してみましょう。

（何を得てきたか）

あなたが、これまでの職場経験を通じて、身につけてきたものは何か、具体的に考えてみましょう。

学生の場合は、教科書に覚えるべきことが示されていて、どこまで覚えたかは試験で明確になります。それに対して職場では、文書事務やパソコンの使い方など研修を受けて覚えることもありますが、必要な能力は実務を通じて身につける「仕事の仕方」や「仕事の作法」の方が多かったのではありませんか。

今の自分と採用されたばかりの新人とを比べてみてください。彼ら彼女らは、何を知らないか。

- ・現在の課題は何か
- ・指示された事務を処理する段取りと、できあがりの姿の想像
- ・文書の作り方、記録と保存の規則
- ・困ったときの対処の方法、相談の仕方
- ・部外者との対応の仕方
- ・年間の仕事の予定、次は何が問題になりそうか
…などなど

（期待されていること1 職場の中心になる）

あなたは、職場の中心となっています。自分の仕事を手早く処理することとともに、指示が無くても、職場全体の仕事を進める立場になっているのです。すると、同僚や部下たちの仕事ぶりに気を配ることも必要です。

あなたが役所に入ったときには、先輩たちを見て「すごい」と思ったはずです。その姿に、今のあなたはなっているのです。若手職員から見ると、あなたは「仕事ができる先輩」なのです。自信を持ちましょう。

でも「怖い先輩」になっていませんか。あの頃の自分を思い出して、後輩には優しくしてやってください。職員が相談しやすい、頼りになる先輩

になってください。相談できずに悩んでいる職員
がいなか、見回してください。職員の話聞く
ことは、管理職にとって重要な仕事です。管理職
に選ばれる前に、その予行演習をしておかなけれ
ばなりません。

(期待されていること2 上司を支える)

後輩と周囲に目配りをするとともに、今度は上
司を見てください。

上司は、困っている職員がいることに気がつい
ているでしょうか、予定通りに進んでいない事務
を把握しているでしょうか。部下は上司に良い話
を持ち込みますが、悪い話は伝えにくいものです。
そのために、うまくいっていない事務があること
を、上司が理解していない場合も多いのです。そ
れを上司に伝えることも、あなたの役割です。そ
して、解決方法を助言することも、期待されてい
るはずです。

いずれ、あなたも管理職になれば、同じような
ことに悩むでしょう。その際に、このような心構
えを持っているだけで、大きな違いがあります。そ
して、あなたの話を聞いた管理職がどう行動する
か、それを見ることができるのですから、こんな
いい予習はありません。

(目指す目標)

今の職位で満足せず、さらに上を目指しまし
ょう。今のあなたに、管理職になるには欠けている
要素は何でしょうか。

あなたには、憧れる先輩や尊敬する上司がいま
すか。では、その人のどこが良いのでしょうか。そ
の人を手本にして、良い上司、先輩を目指しまし
ょう。他方で、嫌な上司や同僚もいるでしょう。で
は、その人のようにならないように気をつけまし
ょう。

(一人で考え込まない)

長所を伸ばすためにも、欠点を修正するため
にも、あなたが自分自身を見直すことは重要です。
その際に自分を見ていても、長所や欠点はわかりま
せん。「自己評価は5割増し、他人の評価は3割
引」と言われます。

客観的に見るためには、誰か「物差し」になる
人を置いて、その人と比べることが早道です。そ
の人と比べて、何が足りないかを考えるのです。

もう一つ、簡単で効果的な方法があります。そ
れは、上司、先輩、同僚に、あなたの評価を聞く
ことです。自分では気がつかない点を指摘して
もらえます。お茶を飲みながら、そのような話が
できる先輩を持っていますか。親しい先輩なら、あ
なたの長所を褒めて、そして欠けている点や伸ば
すべき点を指摘してくれるでしょう。耳の痛いこ
とも言われるでしょうが、ありがたい指摘と思っ
て感謝しましょう。職場での期首と期末の上司と
の面談と評価もよい機会です。人をどのように評
価するか、どう励ますか、という観点からもたい
へんいい勉強になるはずです。

あなたに連れ合いがいるなら、その意見も聞い
てみてください。ひょっとすると、厳しい意見を
くれるかもしれませんよ。

